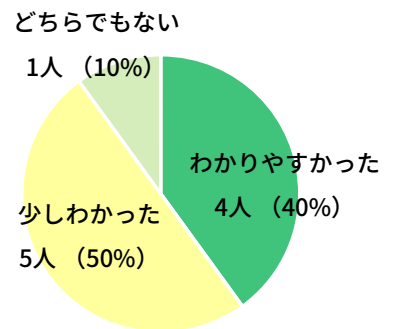


### 1. MICT を応用した学内実習の充実

MICT（Mobile Information and Communication Technologies：携帯情報伝達技術）とは、インターネット回線を使用した携帯情報伝達技術です。ネットワーク配信システムにより、物理的距離という制約を乗り越え、情報の即時共有を行いながら、フェイス・トゥ・フェイスの意見交換およびディスカッションが可能となります。

2014年度は、主に新版K式発達検査2001に関して、MICTを活用した発達検査の共同学習を行いました。具体的には、心理臨床相談室での学内実習において、学生と教員が発達検査を実施する場面を、離れた学習室に同時中継します。MICTを活用すると、クライアントの負担を増すことなく、大学院生の陪席機会を増やすことができます。学習会は事前に告知され、大学院生は任意で学習会に参加できます。

実際の検査場面では検査者である大学院生のサポートを担当教員が行い、また同時中継先の学習室ではプロジェクトスタッフが参加大学院生のサポートを行いました。参加した大学院生は、実施場面を見つめて行動観察やスコアリングを熱心に行い、あたかも自分が検査を行うかのように取り組んでいました。



MICTを用いた発達検査学習会に対する大学院生の理解度

#### MICTによる大学院生の体験の共有と深化

MICTによるリアルタイムの  
同一事例情報共有



実際の発達検査実施場面

録画を行い  
事後学習での活用



発達検査実施場面の中継  
行動観察とスコアリング

様々なタイミングで  
疑問点・感想を共有



事後学習会にてふり返りと  
ケース担当教員の解説

## 2.

# 外部専門家による匿名評価を導入した学習システム

地域支援で実際に大学院生が心理検査を行うという高い目標をクリアするために、検査の正確な実施方法を習得するとともに、実施に対する自信を深められるような知能検査の学習システムを構築する必要があります。今年度は、伊佐市での地域支援に出かける学生に対して、田中ビネー知能検査Ⅴの学習会を行いました。自己評価が客観的な評価に近づくよう、大学院生のロールプレイ場면을ビデオに収め、外部の臨床心理士に評定やコメントを依頼し、匿名でのフィードバックを行いました。

具体的な内容として、大学院生は田中ビネー知能検査Ⅴの検査者としてのロールプレイを実施し、録画するとともに「ふりかえりシート」により検査実施に関する自己評価を行いました。一方、録画した映像は、第一線の現場で働く3名の臨床心理士より、臨床的な視点からのチェックを受け、客観的な評価のみならず、大学院生の長所も含めたスキルアップのための具体的な提案をフィードバックしました。

結果、大学院生の多くは、自分の検査実施や子どもへの対応に関して、低く評価しがちであることが明らかとなりました。そのため、大学院生が自分自身の実施や対応を肯定的に捉えて、指摘や指導を安心して受け入れられる教育プログラムの重要性を再認識することとなりました。

また、大学院生にとって、匿名の外部専門家の評価やコメントは、実践的で学びになると受け止められ、自分の検査スキル、子どもへの対応に関する学習意欲の向上、自信の向上へつながったようです。

今後も継続して、このような地域の専門家とのつながりを活かした新たな大学院生への実務教育と支援活動の可能性を模索していきます。

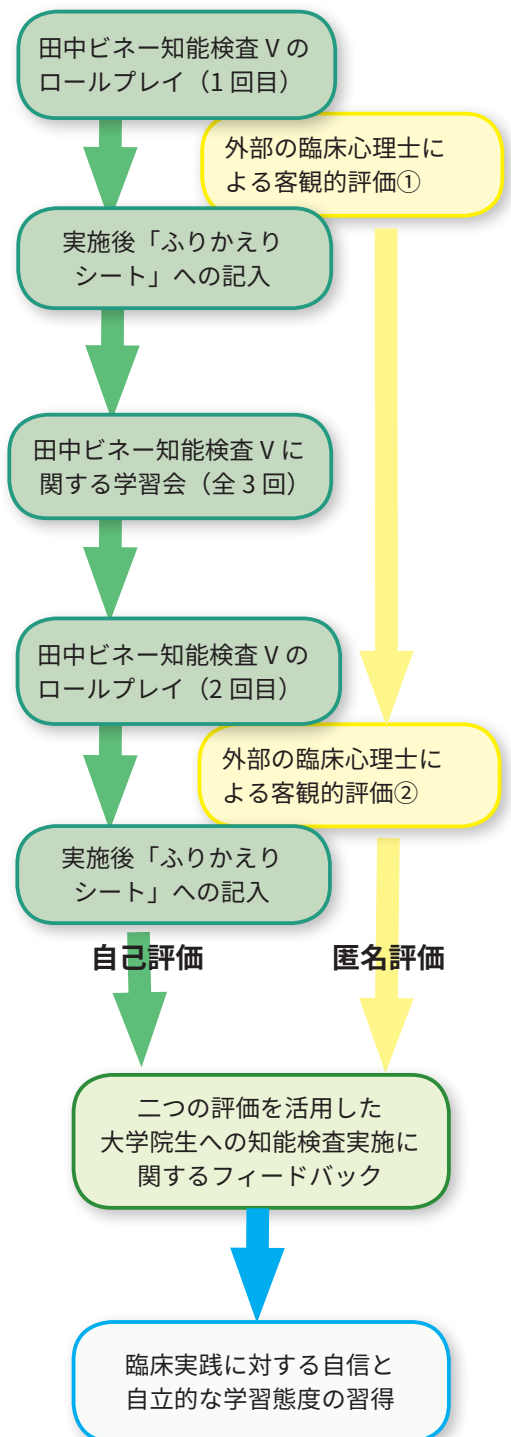


田中ビネー知能検査Ⅴの学習会の様子



大学院生の検査実施場面の評定の様子

### 匿名評価を導入した学習システム



### 3.

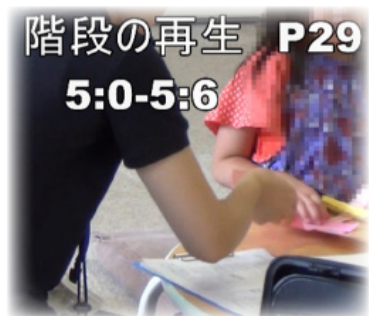
## ビデオ教材を活用した心理検査のオンデマンド学習

地域支援プロジェクトでは、心理検査のビデオ教材を作成し、オンデマンドで活用できるセルフ・ラーニング型教育を進めてきました。先述した MICT と連動して、大学院生が行った検査場面は、学習利用を目的として録画され、モザイク化やテロップ入れなどの編集作業を行い、20～30分程度の DVD へまとめます。検査実施が決まった大学院生は、自分が検査を行うための事前学習として DVD を大いに活用しています。複数の学生が視聴し、その後、ロールプレイ学習を行うという光景も増えてきました。

プライバシー保護や守秘義務と関連するため、対象者の同意は欠かせません。目的を丁寧に伝え、快く協力してくださるクライアントさんも多いです。手間も時間もかかる作業ですが、大学院生自身のセルフ・ラーニングを促進すべく、コンテンツ・メニューの更なる充実を目指していきます。

#### ～オンデマンド学習の利点～

- ・学生のタイミング・ペースでの学習
- ・実際の事例を基にした学習
- ・不明な点・気になる点を繰り返し学ぶことができる



発達・知能検査 DVD の一場面



オンデマンド学習の様子

### 地域と大学を繋ぐ専門職大学院支援室

地域支援活動の依頼や地域での講演会の問い合わせなど、下記までお気軽にご連絡ください。

#### 鹿児島大学大学院臨床心理学研究科 専門職大学院支援室

〒 890-0065 鹿児島市郡元 1 丁目 21-30

直通電話：099-285-7555 FAX：099-285-3907

E-mail：csp@leh.kagoshima-u.ac.jp

お問い合わせ時間：平日 10：00～17：00

URL：http://www.leh.kagoshima-u.ac.jp/kumcp/csp/